

ウェルビーイング戦略のこれまでの取組み

ウェルビーイング戦略

K P I

県民のウェルビーイングが持続的に向上していく「ウェルビーイング先進地域」の創出

主な取組みと成果

●主観的な要素からなる県独自の「ウェルビーイング指標」の策定・活用

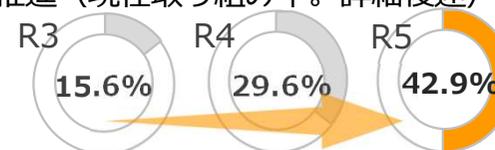
- ▶ 県民意識調査により県民ウェルビーイングの状況を把握し、指標・データ等を政策形成に活用する世界的にも先進的な取組みにチャレンジ（総務省「第8回地方公共団体における統計データ利活用表彰」で「総務大臣賞」（最高賞）受賞）
- ▶ 分かりやすい情報発信や県民参加型事業等により、ウェルビーイングの言葉の認知度は着実に向上（R3：15.6%→R5：42.9%）
- ▶ 施策設計図を活用したパッケージ予算の要求や官民協働事業レビューなど、政策形成・執行プロセスでのウェルビーイング指標の活用
- ▶ R6年度から、全庁的にすべての部門でウェルビーイング向上効果等を勘案した施策を展開
- ▶ 県民意識調査データをダッシュボード化し、EBPMの観点で職員が活用しやすい環境整備を推進（現在取り組み中。詳細後述）

●「ウェルビーイング」に関する取組みが拡大

- ▶ 「富山女性活躍企業」の認定企業が拡大（76社（R6.9.5現在））
- ▶ 富山経済同友会がウェルビーイング小委員会を設置（会員向け講演会・勉強会を開催。県関係部局も参加）
- ▶ （公社）日本青年会議所北陸信越地区富山ブロック協議会と県が締結したウェルビーイング推進に関する連携協定に基づく取組みの実施
- ▶ 高校生の発案を活かした、ウェルビーイングの向上が期待できる「ロゲイニング」の全県展開
- ▶ 絵本を活用した子ども向け啓発（文学館事業との連携） など

KPIの 進捗状況

指標による県民ウェルビーイングの状況把握、その向上に向けた政策展開が県内外から注目されるなど、ウェルビーイング推進の基盤が整いつつある。また、ウェルビーイングを意識し、高め合うことを目指す県民主体の取組みが広がってきている。



県政世論調査で「ウェルビーイング」の言葉を「知っている」と答えた方の割合

1. ウェルビーイング戦略

R6年度成長戦略アクションプラン(概要資料抜粋)

(1) 県民ウェルビーイングの向上、行動促進

多様な人材がいきいきと暮らせる環境づくりを推進

<重点的な取組み>

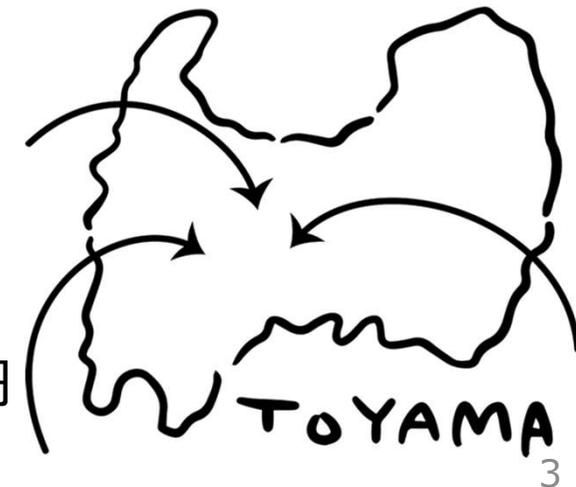
ウェルビーイング指標の状況を踏まえて、

- ・ **若者・こどもを取り巻く“つながり実感”**を充実
- ・ 働く人すべてがいきいきと“働きがい”を実感できる

ウェルビーイング経営を推進

<主な事業>

- ・ 若者・こどものつながり実感充実事業 1,600万円
- ・ こどもの居場所づくり支援事業 300万円
- ・ ウェルビーイング経営実態調査・分析事業 500万円
- ・ ウェルビーイング経営推進事業 100万円
- ・ ウェルビーイング・デジタルコミュニティ活性化支援事業 600万円
- ・ ウェルビーイング指標データベース構築・活用事業 800万円



(2) 女性のウェルビーイング向上

R6年度成長戦略アクションプラン(概要資料抜粋)

<重点的な取組み>

少子化対策・子育て支援専門部会での意見を踏まえて、

- ・ **20代前半の女性の社会減への対応**
- ・ 子育て家庭の **育児の負担感の軽減**

<主な事業>

- ・ アンコンシャス・バイアス気づき発信事業 595万円
- ・ 「就活ラインとやま」情報発信強化事業 1,700万円
- ・ 男性の育児休業取得緊急促進事業 5,190万円
- ・ 子育て支援ポイント制度事業 2億2,370万円
- ・ 保育所等保育料軽減事業 1億9,300万円
- ・ 産前産後ヘルパー派遣事業 600万円

<R6年度のこれまでの動き等>

(1) 若者・こどもに向けた取組みなど

○ウェルビーイング絵本プロジェクト

- ・6/5室井滋さんが手がけた**ウェルビーイングの絵本「タケシのせかい」の完成発表**
- ・絵本連動企画として「あなたのウェルビーイング」を募集
- ・高志の国文学館関連イベント「しあわせにな〜れ！長谷川義史のえほん展」開催
(6/15～9/2。「しげちゃん一座 絵本ライブショー」(7/27)で絵本初朗読)



○高校生とやま県議会

昨年引き続きウェルビーイングをテーマとして実施

- ・**テーマ：「みんなのウェルビーイング向上のために、高校生が考える『○○○』」**
- ・8/19に新田知事と意見交換（高校生50人が参加）
(委員会7/16、9/19：本会議12月予定)

○こども意見表明交流会

こども基本法に基づき、児童生徒の意見を県政運営に反映するため開催

- ・**提案テーマ：**
 - ①「こどもまんなか社会」の実現に向けて
 - ②「ウェルビーイング」の向上に向けて
 - ③「ふるさと富山の未来」について
- ・8/19に新田知事と意見交換（小中学生27人が参加）



○ウェルビーイング・ロゲイングの開催

(1) インクルーシブ・ロゲイング@イオンモール高岡

特別支援学校の生徒と他校の高校生等がチームを組み、
交流することを目的に開催

日時：令和6年8月29日（木）、競技時間2時間

場所：イオンモール高岡 ※県との包括連携協定に基づく協力

参加者：高校生等11名・3チーム

高校教育、特別支援教育、子ども政策、障害者政策、ダイバーシティ&インクルージョン、官民連携等の面で組織縦割りを越えた事業として実施（障害の有無にかかわらず、普段とは違う非日常の経験を通じてお互いを理解し、ふれ合い、つながりを感じる機会に。）

(2) 今後、10月(復興支援の観点、氷見市内)、12月(県内外の高校生を対象、富山市内)、3月(若手社会人・卒業間近の学生等を対象、富山市内)でも開催予定



○子どものウェルビーイング調査の実施

・県民意識調査の対象となっていない15歳未満のこどものウェルビーイングを考えるにあたっての基礎データを収集するため、小学4年、6年、中学1年、3年の児童・生徒を対象としたウェルビーイング意識調査を実施 ※県内小中学・児童生徒に任意で協力いただき、現在集計中

→ 児童生徒用に県民意識調査項目を簡素化して実施。調査結果の有意性や指標相関等、分析方法も含め検証中

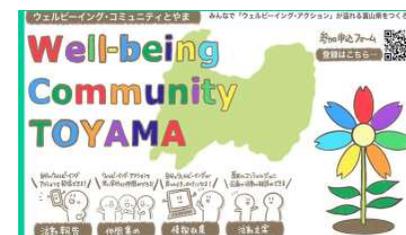
(2) 経済界等と連携した取組みなど

- **富山経済同友会**において会員向けに**ウェルビーイングに係る講演会**を実施（5/20開催）
楽天グループ(株)CWO小林正忠氏が「『楽天流』ウェルビーイング経営がもたらす組織の変化と企業の成長」と題して講演。 経済界から約100名が参加 ※県職員も聴講
- **(公社)日本青年会議所北陸信越地区富山ブロック協議会**(県とウェルビーイング推進に関する連携協定を締結)の**富山ブロック大会**（9/15開催）において、**ウェルビーイングに関するパネルやポスターの展示、チラシ・カードによる啓発を実施** JC会員など約200名が参加
- 県内中小企業を対象に、**ウェルビーイング経営フォーラムを10/4に開催予定**
東海バネ工業(株)代表取締役 夏目直一氏による基調講演や実践的取組事例を共有するパネルディスカッション等を予定（県商工労働部主催）
- **成長戦略カンファレンス「しあわせる。富山」**（11/23~24）では、
“つながり、うごかす、ウェルビーイングの実験場”と題し
県内外の関係者を巻き込む企画を開催予定
- 県内企業や団体の**ウェルビーイング経営の実態を把握**するため、**企業経営者等に対する調査を実施予定**（内容検討中）



(3) その他

- 様々な場でウェルビーイングの露出を高める取組みを実施
(大学への出前授業、県内外からの依頼に基づく講演、各種イベント等でのPR、メディア取材対応、視察対応、研修を通じた職員への落とし込み、など)
- 特に昨年度末は、認知度の低い若年層を対象に心と体でウェルビーイングを感じてもらう「ウェルビダンス」の配信や動画募集、「ウェルビーイングチェック やって見た動画」の投稿などを実施
→ 県特設サイトのウェルビーイングチェックは延べ約7,400人が利用 (9月10日現在)
- 昨年度立ち上げた「ウェルビーイング・コミュニティとやま」を活用した発信・共感・仲間づくりや、関係人口創出につなげる取組みを継続実施 (約270名が登録、県内外へのイベントを予定)
- 今年度は、「多くの県民が所属し一日の多くの時間を過ごす『職場(企業等)』を通してウェルビーイングのさらなる浸透を図るため、広報だけでなく、意識や行動の変容促進につながるようなアクションを検討中
- 昨年度に引き続き、県庁において職員エンゲージメント/ウェルビーイング調査を実施中



ウェルビーイング指標の活用 ～政策形成プロセスの構築に向けて～

令和6年度当初予算編成方針（抜粋）

すべての部門において、ウェルビーイング向上効果等を勘案して施策を検討

その中でも特に、

ウェルビーイング指標を活用した課題解決に係る経費【要求上限なし】

各部局において部局にとらわれないテーマを設定し、**施策設計図**（県民のウェルビーイング向上を意識した事業の整理）に基づき、**ウェルビーイング指標を活用**し、パッケージとして新たに企画・立案した事業に優先的に配分

4つのグループ
23テーマの
事業パッケージ

- 1 “チャレンジ”と“つながり”から育む、若い世代のウェルビーイング
・・・「若者・子どもを取り巻く“つながり実感”の充実」など **6**テーマ
- 2 “働きがい”と未来への希望を高める、働き盛り世代のウェルビーイング
・・・「働きがいを実感できるウェルビーイング経営の実現」など **6**テーマ
- 3 “共助”で支え・高め合うウェルビーイングの輪の広がり
・・・「地域防災力向上による安全・安心実感の充実」など **4**テーマ
- 4 ウェルビーイングを守り・支える“幸せの基盤”の保全と発展
・・・「ウェルビーイングを支え、高める住まいの確保」など **7**テーマ

施策テーマ一覧

※課題感や施策の方向性により各テーマをグループ化

1 “チャレンジ”と“つながり”から育む、若い世代のウェルビーイング

昨年度検討した
重点的取組み①

- ① 若者・子どもを取り巻く“つながり実感”の充実
- ② 就職期の女性に選ばれ、女性が活躍できる環境づくりの推進
- ③ 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす学びの推進
- ④ 子どもの健やかな成長を支え、元気を創造する学びの推進
- ⑤ 県が保有・保管する史資料へのアクセス向上と積極的な活用促進
- ⑥ つなぐ・とやま都市農山漁村交流の推進

2 “働きがい”と未来への希望を高める、働き盛り世代のウェルビーイング

昨年度検討した
重点的取組み②

- ① “働きがい”を実感できるウェルビーイング経営の推進
- ② 県民が富山の自然や食などの幸せの基盤に誇りと愛着を持ち、自分の能力を活かして働くことができる富山県
- ③ 県内事業者のGX社会への的確な対応による持続可能な成長の実現
- ④ サーキュラーエコノミー（循環経済）の推進によるものづくり産業の新たな価値の創造
- ⑤ 県職員のエンゲージメント・ウェルビーイング向上による質の高い行政サービスの持続的な提供
- ⑥ 公金・会計事務のデジタル化による行政サービス向上と県庁の業務改革との好循環創出

3 “共助”で支え・高め合うウェルビーイングの輪の広がり

- ① 地域防災力向上による安全・安心実感の充実
- ② 支え・支えられる共助社会の実現
- ③ 高齢者が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して過ごすことのできる環境づくり
- ④ デジタル変革で紡ぐワクワクする富山県づくり

4 ウェルビーイングを守り・支える“幸せの基盤”の保全と発展

- ① ウェルビーイングの向上をもたらす最適な地域交通サービスの実現
- ② ウェルビーイングを支え、高める住まいの確保
- ③ 県民の命を守り、ウェルビーイングを支える強靱な公共インフラの整備
- ④ 県営電気・水道の安定供給とSDGsへの貢献
- ⑤ 食を通じた県民の幸せ実感の向上
- ⑥ 様々な人が地域とのつながりを実感し、自分らしくいきいきと暮らすことのできる富山の未来に向けた地域づくり
- ⑦ 「デコ活ー脱炭素につながる新しい豊かな暮らしー」の取組み拡大

1 “チャレンジ”と“つながり”から育む、若い世代のウェルビーイング

施策テーマ	とりまとめ部局
①若者・こどもを取り巻く“つながり実感”の充実	知事政策局
②就職期の女性に選ばれ、女性が活躍できる環境づくりの推進	知事政策局
③子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす学びの推進	教育委員会
④子どもの健やかな成長を支え、元気を創造する学びの推進	教育委員会
⑤県が保有・保管する史資料へのアクセス向上と積極的な活用促進	経営管理部
⑥つなぐ・とやま都市農山漁村交流の推進	農林水産部

1 - ① 若者・子どもを取り巻く“つながり実感”の充実

若者や子どもが、様々な人との良好なつながりや活動を通して、地域や富山県への愛着や誇りを感じられている。意見が尊重され、チャレンジを促す環境があり、積極的に地域や社会に関与・貢献できている。

ありたい姿・実現したい未来

課題

- ・ウェルビーイングは、10代は比較的高い傾向にあるが、**20代（特に後半）から低下**。全体的に前向きな意識やつながりが低くなる傾向。下げない→維持・向上に繋げる必要
- ・所属を越えた異世代・同世代との交流、地域での活動など「**つながり**」を自覚し深める機会が必要
- ・自分自身を**肯定的に捉え、チャレンジする気持ちを尊重、後押し**できる環境づくり
- ・15歳未満のWBデータが少ない

背景・現状

○ウェルビーイング指標

- ・つながり実感（地域）
10代：3.11 20代：2.64
※地域には明るい気持ちになる場所や機会が多くある、が（同2.88、2.33）低い傾向
- ・つながり実感（富山県）
10代：3.13 20代：2.76
※未来への期待が（同2.76、2.33）低い傾向
- ・生きがい・希望実感
10代：3.23 20代：2.79
※20代はチャレンジ（2.72）、10～20代は将来の期待、ワクワクが低い傾向（同3.08、2.63）
- ・総合実感（現在）
10代：6.56 20代：6.02

対象

10～20代の若者・子ども、周囲の大人

特に

10～20代前半、進学・就職期の若者・子ども

実施事業
(インプット)

I つながり実感充実

- ① **新** ウェルビーイング・ロゲイニング事業 700万円*
・WBの各要素に繋がるロゲイニングの横展開
- ② ウェルビーイング・デジタルコミュニティ活性化支援事業 600万円
- ③ **新** ウェルビーイング絵本等活用・展開事業 550万円*
・室井さんの絵本を活用し家族や周囲と共に考える機会を提供
- ④ **【連携】新** しあわせを伝えよう！
絵てがみ作品募集事業（生環）700万円
・WBテーマの絵てがみ作品公募、イベント

・高校生提案具現化
・R5.12実証→WB向上効果

情報発信・イベントで連携

II チャレンジ応援

- ① **新** 大学コンソ連携事業 200万円*
- ② **拡** とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業のうち若者創業機運醸成 350万円
- ③ **新** 高校生首都圏インターンシップ事業 300万円
- ④ **【連携】新** 若者・大学・企業等協働・連携促進事業（生環）80万円
- ⑤ **【連携】** NPOチャレンジプロジェクト事業（生環）60万円
- ⑥ **【連携】** 関係人口1000万人協働促進事業のうちワカモノ活動推進472万円の内数
- Ⅲ **新** 子どものウェルビーイング調査150万円*

（連携）WBの視点から成果等の特設サイトで発信

直接の結果
(アウトプット)

- I ①・県内外高校生対象の大規模大会1回、500名・子ども、大学生、新社会人、異世代ミックスなど**WB指標の状況からターゲットを特定→テーマ別の大会3回程度、計500名程度**
※企画・運営に生徒等も参画
- ②コミュニティイベント5回
- ③絵本配布 学校等2000冊想定
- ④応募者500名想定
絵手紙教室2回、表彰式・トークイベント1回 300名程度

- II ①コンソ提案事業2件、学生等30名程度参加
- ②事前セミナー2回×20名、起業体験プログラム(マルシェ)4校
- ③高校生20名程度
- ④交流会1回 NPO・大学生90名程度
- ⑤大学生参加 30名程度
- ⑥採択5件程度

教委と連携

Ⅲ小1～中3計1600名予定

*は、若者・子どものつながり実感充実事業

影響・変化
(アウトカム～インパクト)

- ・地域や富山県の良さの再認識、愛着・誇り、つながり醸成（富山県を自信を持って誇れる人の増）
- ・気持ちが**明るく・楽しくなる**機会の増
- ・多様な**居場所**の提供
- ・家族や友達等周囲の人との**つながりの気づき、深まり**
- ・他世代・同世代交流の広がり、他者への**関心、相互理解**
- ・自分自身を**肯定的に捉え、積極的にチャレンジする意欲の向上**
- ・若者の**チャレンジの場の多様な選択肢**を提供
- ・地域や社会に**積極的に関与し、貢献できる自己有用感の向上**
- ・前向きな**チャレンジ、意思決定を周りが尊重し、実現を応援できる環境**づくり
- ・子どものウェルビーイング施策の**効果的展開、子どもWB向上**

ウェルビーイング向上

つながり（地域／友人）

- ・様々な人との交流、相互理解
- ・地域で前向きな気持ちになる
- ・地域での自己有用感

つながり（富山県）

- ・意見や価値観を理解・尊重する環境づくり
- ・期待や楽しみ、ワクワクする気持ち
- ・自然や食、文化等への愛着・誇り

生きがい・希望

- ・目標を持ちチャレンジする心
- ・やりがい・生きがいの実感
- ・楽しみ、ワクワク感の向上

- ・若者が**自発的・主体的に地域・人を紡ぎ・広げる活動が展開されている**
- ・そうした活動を、周りが**後押し・協力**できている

2 “働きがい”と未来への希望を高める、働き盛り世代のウェルビーイング

施策テーマ	とりまとめ部局
① “働きがい”を実感できるウェルビーイング経営の推進	商工労働部
② 県民が富山の自然や食などの幸せの基盤に誇りと愛着を持ち、自分の能力を活かして働くことができる富山県	地方創生局
③ 県内事業者のGX社会への的確な対応による持続可能な成長の実現	知事政策局
④ サーキュラーエコノミー（循環経済）の推進によるものづくり産業の新たな価値の創造	商工労働部
⑤ 県職員のエンゲージメント・ウェルビーイング向上による質の高い行政サービスの持続的な提供	経営管理部
⑥ 公金・会計事務のデジタル化による行政サービス向上と県庁の業務改革との好循環創出	出納局

2 - ① “働きがい”を実感できるウェルビーイング経営の推進

ありたい姿・
実現したい未来
課題

- 将来的な**人口減少**に伴い、**人材確保**がより困難。
 - 生産年齢人口の主流を占める**ミレニウム世代・Z世代**への訴求が不可欠。
 - 「**知行合一**」※を実践することの難しさ。
- ※知識と行動は一体であり、知識は行動を伴うこと

背景・現状

- **ウェルビーイング指標**
 ※働き盛り世代
 →30～50代で働いている方
 全体：その他年齢層も含む
- **生きがい・希望**
 働き盛り世代 **2. 5 2**
 全体 **2. 5 7**
- **つながり（職場等）全体**
 働き盛り世代 **2. 6 9**
 全体 **2. 7 4**
- **うち、職場等への愛着・誇り**
 働き盛り世代 **2. 6 5**
 全体 **2. 6 9**
- **熱意ある社員の割合**
 (Gallup「エンゲージメント・サーベイ2017」)
 日本6%、世界平均15%

経営者及び従業員が“働きがい”を実感し、自社へのエンゲージメントを高めるとともに、その活動に社会の共感が得られ、経済社会が活性化する好循環が生まれていること

対象

働き盛り世代（30～50代）の経営者及び従業員

まずは

従業員数が少ない企業の経営者及び従業員

実施事業
(インプット)

直接の結果
(アウトプット)

影響・変化
(アウトカム～インパクト)

ウェルビーイング向上

【ステップ1】経営者の変革

- **新**ウェルビーイング経営推進事業 100万円
 - **【連携】** **広**「健康経営」普及支援事業（厚生） 130万円
 - **【連携】** **新**とやま健眠普及啓発事業（厚生） 80万円
- ※このほか、「栄養秘書（弁当を通した経営者の栄養管理）」実証実験や睡眠改善の働きかけを実施

【ステップ2】従業員の内発的動機

- **【連携】** **新**働き方改革・女性活躍サポート事業（知政）550万円
 - とやま人材リスクリング補助金 1,200万円（R^⑤11月補正）
- ※このほか、社会貢献情報の県公式SNSへの掲載や、企業主導型両親学級（育児不安や産後鬱防止のセミナー）の紹介を実施
- **【連携】** **新**ウェルビーイング経営実態調査・分析事業（知政）500万円

【ステップ1】

- WB経営フォーラム 参加者130名程度/年
- 健康経営 とやま健康企業宣言事業所数の増加
- 実証実験の働きかけ モニター 3社

【ステップ2】

- 働き方改革・女性活躍サポート補助金 19件/年
- とやま人材リスクリング補助金 170件/年
- 社会貢献情報の県公式SNSへの掲載 20回/年
- 両親学級の紹介 協賛企業 約25社/年
- 県内企業 200社程度想定

- ありたい姿を実現するためには、**経営者自身が変革**した上で、経営者が自らが「知行合一」を実践。
- その上で、経営者と**縁があつて入社した従業員**が一体となって理念を語ることで**従業員の内発的動機**を引き出し、**チャレンジ精神**を許容する経営、又は**働きがいを最大限**に引き出す経営が増加。
- また、企業が社会に**貢献**することにより、ミレニウム世代・Z世代の**共感**を高める経営が増加。
- この展開により、企業に対する**共感**が生まれ、収益拡大や人材確保などの**好循環**が生まれている経済社会を構築。

生きがい・希望

- 自社の経営理念を再認識したうえで、従業員が自社のファンになること
- 将来への期待感向上

つながり（職場）

- 社会貢献活動を通じて地域課題の解決に取り組むマインドの高まり

今回の予算編成過程での効果等

- ◆ ウェルビーイングを意識した県民目線での議論活性化
- ◆ 指標のデータ状況に基づく新たな取組みの創出
- ◆ ウェルビーイングの観点からの既存事業の捉え直し、価値の再考
- ◆ 部局を越えた施策立案や連携の促進 (縦割りの打破)
- ◆ 施策の基礎となるエビデンス、成果・効果につながる論理展開の見える化・共有

- ⇒
- ・さらなる部局連携やデータの活用など工夫の余地あり
 - ・事業実施や効果検証段階でもウェルビーイング向上を意識していく必要
- …長いスパンでの検証が必要

さらなる庁内浸透に向けた取組み ～ウェルビーイングを起点とした施策形成～

1. 環境面

PowerBI によるダッシュボード構築

【BI (Business-Intelligence) ツール】

企業や組織が持つデータを分析することで、さまざまな業務や経営に役立てるデータ活用支援ツール

意識調査結果データをグラフや図表等でビジュアル化して表示できる環境を整備中

- ⇒ ・**個々の職員**が複数属性（性別×年齢など）の**回答結果データ**を、**自由に活用**
（昨年はWB課が要素を抽出、担当課に提供。担当課が得られる情報が限定的だった）
- ・主観的WB指標データの利用 ⇒ **政策の立案・執行・検証へのさらなる活用を期待**

2. 日常的な職員の意識・能力面

職員向け実務的研修の充実

WBに特化した個別研修だけでなく、役職や採用期間により受講が必須となる単位制研修や繰返し研修においてもウェルビーイング指標に係る内容を取り入れ

- ⇒ ・職員の納得感を生み出すとともに、データ利活用能力を向上
- ・ワークエンゲージメントの向上にもつなげる

「1」および「2」などを通して、

（新たな取組みの創出、既存施策の再考、部局間連携の促進 ⇒ **職員の意識改革**）

ウェルビーイング起点での政策形成の自走化、県民ウェルビーイングの向上につなげる

令和6年度の県庁活性化の取組み (2024.2.15発表 抜粋)

(5) 県民目線での政策形成・執行、業務の見直し



① 県民のウェルビーイング向上を目指した政策形成・執行プロセスの構築

➤ 令和6年度当初予算編成での指標活用

- すべての部門において、ウェルビーイング向上効果等を勘案して施策を検討
- ウェルビーイング指標を活用したパッケージ事業の企画・立案に当たり、施策設計図に基づき議論を深掘り

➤ 指標を活用した事業実施、効果検証等

- 事業実施、効果検証段階等でも指標や関連データを意識し、ウェルビーイング指標を組み入れた政策形成・執行プロセスの構築を目指す

先述

23

(5) 県民目線での政策形成・執行、業務の見直し

▶ 令和6年度官民協働事業レビューの実施

- 事業数 18事業程度（1事業あたりの時間を10分拡大し70分に）
- 県民の意見が多かった平日開催を一部日程で試行実施
- 対象事業について、新たに「県民のウェルビーイング向上」につながるかという視点を加えて評価

令和6年度から事業評価シートに以下の観点や項目を追加

- 「事業対象」 → この事業を実施することによって、最終的にウェルビーイングの向上を図りたい県民等の属性（年代、性別、職業など）をできるだけ具体的に記載
- 「ウェルビーイング指標項目」 → 事業を実施することで向上が図られると考えているウェルビーイング指標を選択（総合指標2項目、なないろ指標7項目、つながり指標5項目から最大3つ選択）

富山県職員人材育成・確保基本方針の概要

～ 職員一人ひとりが自ら考えて“始動”する富山県へ ～

(令和6年2月策定・発表)

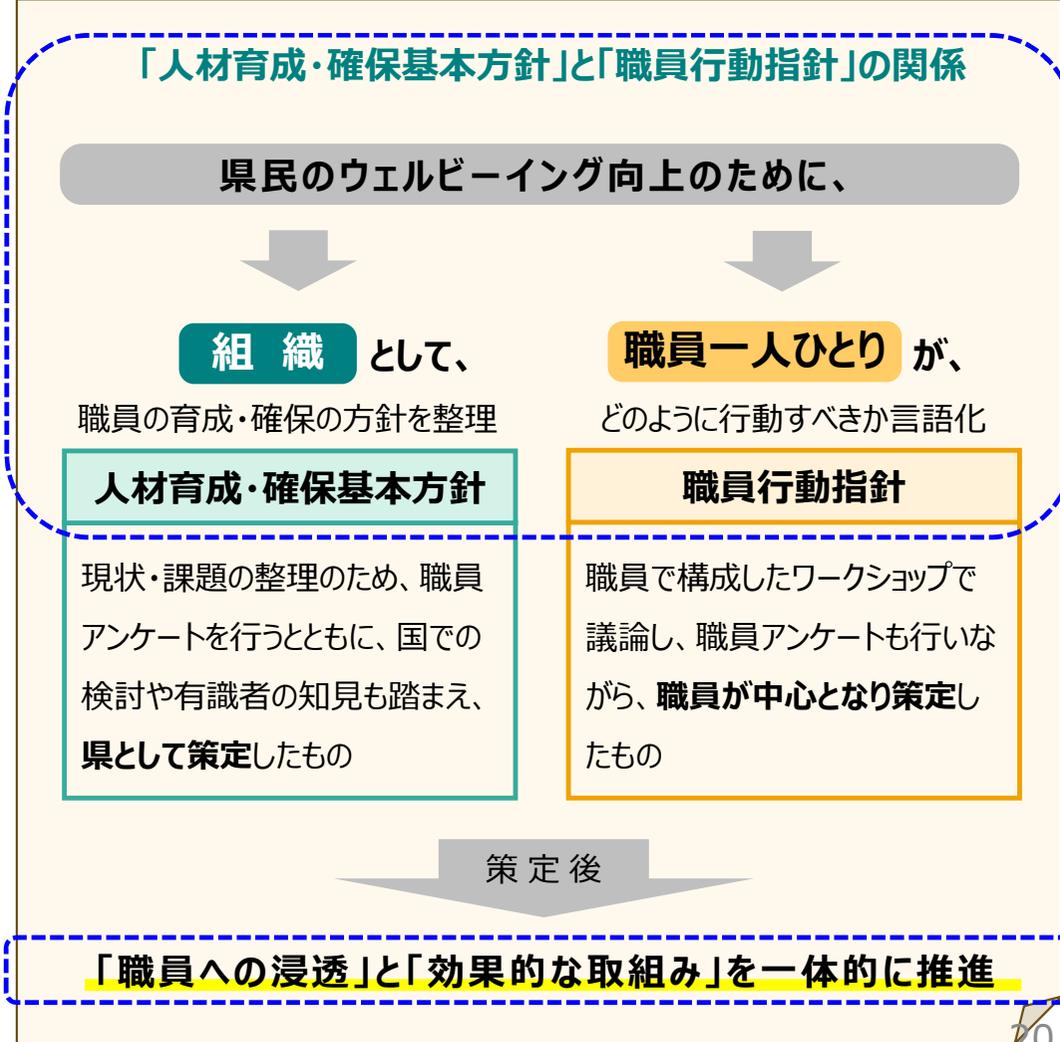
策定の背景

- **社会情勢の変化、複雑・高度化する行政課題への対応**
 - ・ 少子高齢化の進展・生産年齢人口の減少、個人のライフプランや価値観の多様化、大規模災害・感染症などの新たなリスクの顕在化、デジタル社会の進展など、社会情勢は急速に変化しており、職員が直面する行政課題も複雑化、高度化しています。
- **働き手の意識変化への対応**
 - ・ 官民を問わず、職場に求める価値観は、「仕事のやりがい」や「組織への貢献の実感」、「自己成長」等が重視される方向に変化してきました。
 - ・ 富山県成長戦略で掲げる「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」を推進するためにも、職員の仕事のやりがいや自己成長などの実感を伸ばしていく必要があります。



職員の人材育成・確保を計画的・総合的に進めるため、
「富山県職員人材育成・確保基本方針」を策定

※本方針は5年毎に見直し、今後の社会情勢の変化にも対応



取組みの方向性①

組織として「目指す組織像と職員像」の明確化と、職員一人ひとりの「行動指針」の言語化により、**職員の意識改革と人材育成・確保を一体的に推進**します。

「組織」について

目指す
組織像

オープンな県庁、風通しのよい県庁、チャレンジできる県庁

目指す
職員像

県民のウェルビーイング向上を意識して業務に向き合い、
主体的に県庁内外の様々な人々と連携・協働し、
自身の成長と幸せにつなげられる職員

職員に
求められる
基本能力

- ①住民意識・協働能力
- ②職場対応能力
- ③組織管理能力
- ④危機管理能力
- ⑤職務遂行能力
- ⑥政策形成能力
- ⑦情勢適応能力

「職員一人ひとりの」の

職員
行動指針

【ウェルビーイング】

いち富山県民として、県民の幸せに向き合います

【県民起点】

人とつながり、現場を知り、施策を磨きます

【共感共創】

立場を超え、お互いを尊重し、力を掛け合わせます

【チャレンジ】

チャレンジを積み重ね、「より良くする」を応援します

【誇り】

託された仕事に誇りを持ち、最善を尽くします

「ミッション・ビジョン・バリュー」との関係

